

第 2 回 災害対応訓練を実施

平成 28 年度 (一社)三重県建設業協会 実施事業

平成 28 年 8 月 6 日(土)9 時 30 分～11 時 30 分

開催場所：亀山市関町木崎地内

鈴鹿川勸進橋上流左岸河川敷グラウンド

(一社)三重県建設業協会 主催 第 2 回 災害対応訓練を実施

事業内容：

(一社)三重県建設業協会は中部地方整備局並びに国の県内各事務所及び三重県ほかと大規模災害発生時に応急復旧作業を迅速に行い、地域住民の安心・安全を確保するため、災害発生時の災害協定を締結しています。

大規模災害が発生した場合には発生地域の会員企業だけでは対応が困難な場合も想定されることから、(一社)三重県建設業協会の組織力と会員企業の総力を結集した組織的な災害対応訓練を実施しました。

このような組織的な訓練は 2 回目です。

(一社)三重県建設業協会は携帯電話のメール機能を活用した「情報共有システム」を立ち上げ、会員企業とその従業員に直接安否確認や直接連絡を行うことが可能となっており、携帯電話で撮影した写真をシステムに送ることで、写真に添付されている位置情報をもとにシステムの地図上に表示することが可能です。このシステムにより多くの情報を収集し、その情報を各行政機関と共有を図ることが可能で、災害発生時に早期の応急復旧活動を実施するための資料となります。

今回の災害対応訓練は、「情報共有システム」を用いた訓練を前日(8月5日)に実施し、大規模災害が発生した支部から応援要請がなされ、(一社)三重県建設業協会の組織力と会員企業の総力を結集して応援を行うというもので、鈴鹿川勸進橋上流左岸河川敷グラウンドを訓練会場として実施しました。

当日は、鈴木三重県知事、櫻井亀山市長、末松鈴鹿市長、石原菰野町長のほか、川村三重河川国道事務所長ほか県内各事務所長、水谷三重県県土整備部長ほか県内の各建設事務所長ほか多くの行政関係の防災担当者のみなさまにおこしいただきました。

当協会からは、県内の各支部から会員企業 229 社とその従業員 386 名が参加し、21 台の重機を持ち込み一致団結して訓練に取り組みました。三重河川国道事務所が共催となっており、所有するポンプ車や照明車、パトロールカーも参加していただき、一体となって訓練を行いました。

実施した訓練は、道路啓開訓練(崩落土砂撤去訓練・放置車両撤去訓練)・浸水地域解消訓練(ポンプ車による排水訓練・根固めブロック設置訓練・大型土嚢作成設置訓練・小型土嚢作成設置訓練)・応急仮設橋設置訓練などです。

当日は猛暑厳しく、お越しいただいた方々から「熱中症は大丈夫か」との心配の言葉をたくさんいただきましたが、1 人の発症者もなく無事に終了することが出来ました。

訓練終了後、見学に来ていただいたみなさんに重機と高所作業車への体験乗車をしていただきました。

(一社)三重県建設業協会はこのような災害対応訓練を実施し、大規模災害発生時に会員企業が相互に協力して、災害協定に基づく応急復旧活動が迅速に実施できるよう取り組んでまいります。



崩落土砂撤去訓練



放置車両撤去訓練



根固めブロック設置訓練



大型土嚢作成・設置訓練





小型土嚢作成・設置訓練



排水ポンプ車操作訓練





照明車設置訓練



応急仮設橋設置訓練



大型・小型土嚢設置状況



高所作業者体験乗車



訓練後のパトロール

